

放射線科

■GIO :

将来の専攻科に関わらず、放射線学的検査法や治療法の適切な選択や評価ができるようになるために、画像診断やIVR(Interventional Radiology)の基本的な考え方や方法を習得する。

■SBOs :

1. 腹部超音波検査を施行し、見落としのないプローベ操作を行うことができる。
2. CT/MRI 読影に際し、正常と異常所見を区別することができる。
3. 上記に際し、異常所見から診断あるいは診断のための対処を考える。
4. 上記の内容を適切に表現し伝えるためのレポートを作成することができる。
5. 各種画像検査やIVRの適応と合併症を理解する。
6. IVRの基本操作のうち、局所麻酔、セルジンガー法による脈管穿刺と圧迫止血ができる。
7. 手技の際、患者の状態に配慮し適宜コミュニケーションをとることができる。

■LS :

1. 腹部超音波検査を、指導医監督のもとで、はじめから最後まで自分で行う。
2. 画像 viewer で CT/MRI 画像を読影し、画像診断レポートを作成する。
3. 当院の症例集から診断過程を自己学習する。
3. 画像診断上の疑問に対し、医学書籍やインターネットを有効に利用する。
4. 院内各科との合同カンファレンス（神経内科、呼吸器、消化器、婦人科）や画像診断関連の学会・研究会に参加し、画像診断の臨床に対する意義を学ぶ。
5. 指導医によるミニレクチャー。

【初期研修 週間予定表】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	腹部超音波	腹部超音波	胃透視注腸	腹部超音波	読影	
午後	読影	血管造影IVR	読影	血管造影IVR	読影	
	脳神経内科カンファレンス	呼吸器カンファレンス	産婦人科カンファレンス 消化器カンファレンス			

■Ev :

1. 腹部超音波検査では、指導医や検査技師による検査中・検査後の注意や助言。
2. 腹部超音波検査における検査施行上のこつや注意点をまとめてマニュアルを作成する。
3. 作成した画像診断レポートの指導医によるチェック。
4. 症例集や症例問題の口頭試問。